

## 用瀬・大村・社保育園の在り方に関する意見交換会実施状況

保育園名	開催日	参加者			左の内 保護者	備考
		男性	女性	計		
大村	H27.8.6	8	8	16	7	園長1
社	H27.8.7	6	4	10	5	園長1
用瀬	H27.8.10	9	2	11	2	園長1
	計	23	14	37	14	

各会場とも支所長挨拶（社会場は副支所長）の後、児童家庭課九鬼課長補佐により現況、用瀬地域保育園の整備について説明を行った後、参加者からの質問、意見を求めた。

主な内容は以下のとおり。

## 質問、意見

①河原町、佐治町の状況はどうですか。（大村）

A：佐治町について平成26年度にひまわり、ふたばの2保育園を一園に統合しました。河原町は、あゆっこ園、散岐、西郷の3保育園があります。H21年度に八上、河原保育園、河原幼稚園を統合してあゆっこ園として規模を大きくしたが、現在定員いっぱいの状況です。今後、統合となれば散岐と西郷かなと思っているが、社より少ない園児数かも。これから考えていかなければいけない。

②合併した後の通園方法は？送り迎えについてどうか。（大村、社、用瀬）

A：場所にもよりますが、現時点では送迎バスは考えていません。各家庭での送迎、公共交通を利用をしてほしい。幼保一体型保育園は河原、福部、鹿野で行っており市内保育園でも河原、鹿野の2園が送迎バスを出しているが、合併前から継続されている園です。

③1ヶ所に統合したら、園がなくなる地域がますます衰退してしまうのではないか。流れとは違う意見かもしれないが、過疎化に拍車がかかるのではないか。（大村・社）

④同じ意見です。少人数で今までという意見はなかったのですか。（大村・社）

⑤幼い時期であれば、異年齢一緒に保育しても良いのでは。一緒にしているのは先生が少ないから、場所がないから、長い目で考えればいいことなのでは。（大村）

⑥保護者の中でも同じような意見もありました。年齢にあった保育、異年齢保育も良い面、悪い面もある。しかし、0歳、1歳、2歳児が同室保育といった環境を考えれば、それぞれの年齢にあった保育、集団性の確保の観点から統合に向けて保護者会では統合する方向で意見の集約をした。

⑦4歳、5歳が一緒にどんな弊害があるのか。(大村)

A：弊害というより、就学前の保育などその年齢にあった保育という観点で考えた時に、どうなのかということで捉えていただきたい。

⑧保護者会として同年齢で、多人数での保育を要望した。(保護者の方)

⑨保護者会が全面的に賛成というわけではないが、三園の意見集約をし要望した。(保護者の方)

⑩統合・・・いい面、悪い面もあるが、いたしかたない面もある。(大村)

⑪河原の現状では、新園舎を建てた時の規模に反して、園児数が多くなっているとのこと、そのあたりを見越して、規模を大きくしておいた方がよい。(大村)

A：三園を残していれば受け入れられたものが、一園にしたために受け入れられなくなるように、ある程度余裕を持ったものを考えていただきたい。

⑫全体のスケジュールはどうか。いつ頃にどうなるのか見えない。わかるのであれば示してほしい。(大村)

A：統合ありきではありません。まずは皆さんのお聞きし、自治会長会にも報告する中で、スケジュールを立てることになります。現段階ではお示しできない。

⑬どの時点で決定するのですか。(大村)

A：三地区でOKが出てからです。自治会長会や地域振興会議にも諮り、お話しする中で合意形成をとり、決定していきます。

A：場所の選定であったり、用地の決定があれば保護者会にも報告しながら進めています。

⑭幼保一体型の考えはありますか。(社)

A：ないです。

⑮保護者の意見が一番大切だと思うが、場所も含めたスケジュールはどうか(社)

⑯敷地に余裕があるかどうかわからないが、小学校の敷地内に建ててはどうか。(社)

A：大村地区でも話しましたが、場所の選定についてはまだ白紙状態です。あるべき保育園の方向性が決まれば、自治会長会、地域振興会議など広く地域の合意形成を図りたい。

⑰安全確保の面で、送迎の行いやすい駐車スペースを十分に確保してほしい。(社)

A：確保に向けて取り組みます。

⑱新園舎建設となれば、地域で現在の園舎の利活用ができるよう配慮してほしい。(社)

A：縮小してとなるのかもわかりませんが、状況を見ながら考えたいと思います。

⑲いつの自治会長会に説明するのか。まとめ、集約したものを見たいと思うので対応してほしい。(社)

A：10月の自治会長会には説明したいと思います。保護者会にも返していきます。

⑳統合したら100名規模ということであるが、どんな状態か。(用瀬)

A：鳥取市全体では中規模保育園です。

②メリットはわかるが、デメリットを教えてほしい。（用瀬）

A：デメリットは現在の状態から考えると新園舎の場所により、保護者の方に送り迎えの負担が増える。小規模から中規模になることに対しては、子供が慣れてくれば問題はないと感じている。

③用瀬保育園で、築33年経過、耐用年数はどのくらいなのか。（用瀬）

A：建物の耐用年数的にはもっとあるのかもしれないが、大規模修繕が出てきている状況である。

④職員の配置数はどうですか。（用瀬）

A：各保育園の保育士の数を把握していませんが、国の基準で30人に1人とか、未満児では何人に1人とかという基準があり配置しています。

A：用瀬保育園には正職員、臨時、パートを含めて13名います。

⑤具体的に進行状況はどうか。今後も含めて。（社・用瀬）

A：保護者会は統合の方向で要望書を出されていますので、地域の皆様に状況と今後の方向性の説明をさせていただき、今後、場所や用地を決定、設計1年、建築1年といったことになろうかと思います。

⑥他地域等ではどのような内容が出ていたか教えていただきたい（用瀬）

A：他地域で出ていた内容を何点か報告。（内容省略）

⑦統合したら確実に年齢別保育が可能になるか。（用瀬）

A：子供の数は変動するので何年先もずっととは言えませんが、現在の状況であれば可能です。

⑧サービス面についてどうなるのか。（用瀬）

A：11時間のうちが延長保育となり、朝7時～18時までが正規の保育時間であれば、19時までが延長保育となります。延長保育や土曜日保育など保護者のニーズに沿った保育の充実を図っていきます。また、病児保育は難しいですが、回復期の子の病後児保育は現在市立病院、青谷、河原（散岐保育園）で対応しています。こうしたことも検討していきたいと考えます。